

# 肢体不自由教育部門 中学部 教科別の指導「国語」 学習指導案

日 時 令和5年10月27日（金）3校時 11:20~12:10

## 1 単元名「ぞうくんのさんぽ」～楽しい言葉を見つけよう～

## 2 題材設定の理由

### (4) 学校課題研究との関わり

本校の研究主題「12年間を見据えた系統的・継続的な指導の充実」、副題「個別最適な学びにおけるICTの具体的な活用方法」との関わりから、学校課題研究で協議した学習指導案の作成方法や授業の展開・評価の方法を参考に、本時に関する実態把握や目標設定を行う。

本授業では、系統的・継続的な指導の観点から、言葉の意味や自分なりのコミュニケーション方法を知り、自分の気持ちを伝えられるように繋げていきたい。また、体験活動ではBGMを活用し、絵本の世界をイメージしやすいようにする。

## 3 題材の指導目標

### (1) 共通目標

- ① 会話や擬音語のリズムや響きに親しむことができる。(知識及び技能)
- ② 絵本を見て、登場人物に気付き、注目することができる。(思考力、判断力、表現力等)
- ③ 友達を誘う会話や擬音語に興味をもち、楽しみながら意欲的に体験活動に参加できる。  
(学びに向かう力、人間性等)

## 4 指導計画（本時 5 / 7 時間）

時数	主な学習内容	評価の観点（評価方法）
1	・オリエンテーション ・読み聞かせ	知 会話や擬音語の言葉のリズムや響きに親しむことができる。(視線・表情・手の動き)
2 3 4	・ぞうくんとおはなしをしよう	学 会話や擬音語に興味をもち、楽しみながら意欲的に体験活動に参加することができる。 (視線・表情・手の動き)
5 (本時)	・ぞうくとさんぽしよう	知 友達を誘う場面の会話や池に落ちる場面の「うわーっ」や「どっぼーん」等の擬音語のもつ楽しさに触れることができる。 (表情・手の動き)
6	・友達や先生と一緒に散歩をしよう	学 友達や先生と楽しみながら、意欲的に体験活動に参加することができる。 (表情・手の動き)
7	・活動のふりかえり	知 活動を振り返り、会話や擬音語の意味に気づくことができる。 (視線・表情・手の動き)

## 5 本時の学習

### (1) 本時の共通目標

友達を誘う場面の会話や池に落ちる場面の「うわーっ」や「どっぼーん」等の擬音語のもつ楽しさに触れることができる。(知識及び技能)

(3) 展開

時間	学習活動	○個別の支援（手立て） ・指導上の留意点 ◇評価の観点			備考
		A	B	C	
導入 1 5 分	1 あいさつをする。	<p>・授業の始まりを意識できるよう、姿勢の向きを整えたり、言葉掛けをしたりする。(T1)</p> <p>体験活動を通して、楽しい言葉を見つけよう。</p>			
	2 学習内容と目標をきく。				
	3 言葉遊びをする。	○サイコロ形式で言葉を選び、教員と一緒に手を動かす。	○サイコロ形式で言葉を選び、教員と一緒に手を動かす。	○サイコロ形式で言葉を選び、教員と一緒に手を動かす。	
展開 3 0 分	4 ぞうくんとさんぼをする。				
	①劇の動画を見る。	○スクリーンに注目できるよう、声掛けを行う。	○スクリーンに注目できるよう、声掛けを行う。	○スクリーンに注目できるよう、声掛けを行う。	
	②好きな登場人物を選択する。	○選択しやすいように、動物の写真を提示する。	○選択しやすいように、動物の写真を提示する。	○選択しやすいように、動物の写真を提示する。	
	③体験活動をする。	○発声できるように身振りや声掛けを行う。 ◇友達を誘う場面で人や物を注視することができたか。	○発声できるように身振りや声掛けを行う。 ◇友達を誘う場面で人や物を注視することができたか。	○発声できるように身振りや声掛けを行う。 ◇友達を誘う場面で「あ」と発声したり人や物に触ることができたか。	
		○ボールプールに落ちる際に「うわーっ」や「どっぼーん」の擬音を教員が言う。 ◇擬音を聞き、表情を変えることができたか。	○ボールプールに落ちる際に「うわーっ」や「どっぼーん」の擬音を教員が言う。 ◇擬音を聞き、表情を変えることができたか。	○ボールプールに落ちる際に「うわーっ」や「どっぼーん」の擬音を教員が言う。 ◇擬音を聞き、表情を変えることや、腕を上下に動かすことができたか。	

ま と め 5 分	5 本時の振り返りと、次時の予告をする。	○使用した用具や教具を見ながら、活動の中で頑張ったところを振り返る。	○使用した用具や教具を見ながら、活動の中で頑張ったところを振り返る。	○使用した用具や教具を見ながら、活動の中で頑張ったところを振り返る。
	6 あいさつをする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ・授業の終わりを意識できるよう、姿勢の向きを整えたり、言葉掛けをしたりする。(T1)         </div>		

## 6 評価

### (1) 本時の共通目標に係る評価の観点

友達を誘う場面の会話や池に落ちる場面の「うわーっ」や「どっぼーん」等の擬音語のもつ楽しさに触れることができたか。(知識・技能)